

# グリーンノート



No.54 10月号 発行日 平成22年10月20日

## グリップキャンペーン2010

ありがとう♡緑  
ひとまちいのち



秋の行楽シーズンになりました。9月号でもお知らせしていました「グリップキャンペーン2010」がいよいよ始まります。ご家族、お友達をお誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。

詳しくは「チラシ」をご覧ください。

【日 時】10月30日(土)・31日(日) 9:00~17:00

【場 所】福岡市植物園

※大変混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。



ハンギングバスケットが植物園を彩ります

### <目次>

- ・グリップキャンペーン2010 1
- ・観光の語源と植物
- ・ガーデニングワールドカップ 2
- ・第2回花づくり講座を受講 3
- ・ハンギングバスケット講座を受講
- ・和の寄せ植えづくり 4
- ・9月号ハーブせっけん一部訂正
- ・飯盛山薬草観察ハイキングに参加 5
- ・飯盛山にイチヨウを植えよう 6
- ・秋の感謝祭2010二丈キャンパス
- ・福岡市植物園からのお知らせ

### <記事投稿のしかた>

本誌に記事を載せたい方は事務局にご連絡の上、記事内容を書面(メール可)で提出してください。記事の量によっては、重要箇所のみ掲載となります。活動参加者募集等を行う場合は、必ず連絡先、連絡方法を明記してください。11月号(11月20日前後発行)への投稿〆切日は11月10日です。それ以降の投稿は12月号への掲載になります。

グリーンノートのバックナンバーは協会ホームページに掲載しています。

<http://www.mori-midori.com>

### <発行元/事務局>

福岡市住宅都市局  
公園緑地部緑化推進課  
TEL: 711-4424  
FAX: 733-5590  
(財)福岡市森と緑のまちづくり協会 みどり課  
メールアドレス:  
[anjyu.t@mori-midori.com](mailto:anjyu.t@mori-midori.com)  
TEL: 822-5832  
FAX: 822-5848

## 観光の語源と自然

《元西日本短期大学教授 岡本 均さん》

観光の語源が易経にあることは記しました

当初、卦は偶数・奇数、即ち陰(☷)陽(☰)を3つの算木の組合せ、つまり $2^3=8$ のそれぞれにこの世の根幹としての天地自然の要素を対応させたものでありましたが、8つでは全ての事象に対応する事が出来ないために、後に $2^3 \times 2^3=64$ の卦に定まったものです。「当たるも八卦、当たらずも八卦」はここからきていられるといわれます。

八卦 天 沢 火 雷 風 水 山 地

☰ ☱ ☲ ☳ ☴ ☵ ☶ ☷

×

天 沢 火 雷 風 水 山 地

この64卦の中の一つに「観」一風地観(陰陽の組み合わせは下の図の通りです)という卦があり、更にその細かい部分の解釈の一部に「観国之光」という言葉が用いられているヶ所があります。

風地観 ☱☷

この卦の全体の解釈は、「地上には風が吹き荒れ、君子道が衰え、私欲がせめぎ合って、秩序崩壊の時であるが、静思して現象の奥まで見抜かねばならない。」まさに現在の日本を表徴しているようです。今日、国が観光立国宣言をしたということは、大げさに言いますと緑のコーディネーターに、地上に良い風景(国の光)を創出し、運気隆盛に向かわせる役目が課せられているといってもよいでしょう。

天地自然には太刀打ちできない、人間の非力を改めて感じさせられた今年の夏でした。しかしまたそれを何とか乗り越えていく工夫をするのも人間の知恵です。ミドリをツールとしたまちづくりもその一つでしょう。



## 『ガーデニングワールドカップ2010 ナガサキ』に行きました！

《緑のコーディネーター 中村由美さん》

【期 日】10月11日（月・祝）

【場 所】佐世保市ハウステンボス

★平和をテーマにガーデニングの世界大会

最優秀賞を受賞したのは、英国出身アンディ・スタージョンさん。コンセプトは、調和と融合で、希望の象徴の樹木があり、鉄と石の使い方が斬新です。

ガーデンタイトルの“手を差し伸べて”は平和へのメッセージが込めてありました。ガーデンは、おうちに着くまでの、わずかな距離を歩くのが楽しくなるような小道を造りだし、太陽の光りが水辺に写る緑も計算に入れてありました！

★今回、緑のネットワーク研修で直接説明を受けたのは、米国のジョン・カレンさん。

なんと、偶然にも今日がバースデー♪説明を受ける前に、皆様とHappy Birthday♪でお祝い！！ロマングレーにサングラスをかけ、ジェスチャーを交えての説明は素晴らしく、ダンディーで、彼の作品は、一目見るだけで、恋い焦がれるガーデニング会のロマンスだとか。

カリスマ的なデザイナーで、アンティークな石、レア・ストーンを用い伝統な歴史を感じる庭造りとなっています。

作品は教会をイメージし石の厳選と組み立てに、凄い時間を費やし、戦争で壊れた教会が、周りの木々やお花で人々が癒されますように…と、祈り・願いがメッセージとなっています。

驚いたのは、ハウステンボスの並木の木を、ちゃんと周りに溶け込むように、同じ木々を厳選“成長過程を想像し配置”中に流れる小川の元には、日本を代表するもみじの可愛い木が植栽されてありました。

★これは、是非ともガーデニング好きの緑のコーディネーターの皆様に、見て頂きたいお庭造りでした。それから、福岡市グリッピーキャンペーン実行委員会から、ハンキングバスケットのお花が、会場までの行き道に飾ってありました！ 綺麗でした！



最優秀賞に輝いたアンディさんの庭



教会をイメージしたジョン・カレンの庭



教会の周りにも優しい花が咲いています



ジョン・カレンさんの話を熱心に聴講



会場の入口に飾られたハンキングバスケット

※『ガーデニングワールドカップ2010』10月9日（土）のレポートは11月号でお知らせしますので、お楽しみに！



## 第2回「花づくり講座」を受講して

《緑のコーディネーター 熊崎容子さん》

【日 時】9月12日(日) 13:00~15:00

【場 所】福岡市植物園

8月8日に第1回花づくり講座を受講し、波左間先生より種の蒔き方、移植の仕方を教わり、種は、1週間後の8月15日にメモを見ながら、蒔きました。その前の1週間は園芸店やホームセンターを覗いて、遮光をどうしようか、置く場所を等と考えていました。

私の勘違いもあり、ペテュニアは芽が出ませんでした。マリーゴールドが先に芽を出し、続いてサルビア。遮光には、すだれを使用しました。

2週間後の8月29日に移植をしました。9センチポットに、マリーゴールドは2本ずつ、サルビアは、1本ずつ。

朝は、日が当らず、昼から日が当たる軒下で、おまけに私の仕事が不規則なので、水やりが朝だったり、夜だったり。余り過保護でなかったのが良かったのか、第2回目の花づくり講座での苗診断で、「これは、良い!」と波左間先生から褒められてびっくりです。嬉しかったです!

苗たちが、順調に育って花を咲かせてくれる日を心待ちにしています。



一人一人花苗の診断をしてもらいました



これは立派に育った先生の花苗

## ハンギングバスケット講座」を受講して

《緑のコーディネーター 磯辺孝子さん》

【日 時】9月12日(日) 15:00~16:30

【場 所】福岡市植物園

第2回「花づくり講座」の後、ハンギングバスケット講座が開かれ、石井康子先生のユーモア溢れる指導のもと、始まりました。

男性や、はじめての方も多く、ワイワイ・ガヤガヤ1つ1つ確認し、助け合いながらの楽しい時間となりました。

「せんせ〜い」とあちこちから質問が飛び交う中、優しくジョークを交えて教えていただき「ハンギングバスケット」が身近になった1日でした。



講師の石井康子先生



順番どおりに苗を入れていきます



作品はグリッピーキャンペーン会場に飾られます

# 和の寄せ植えづくり

《講師 緑のコーディネーター 黒瀬恵子さん》

【日 時】 9月18日(土)14:00~16:00

【場 所】 南当仁公民館

秋の風情漂う「和の寄せ植えづくり講座」に、地域に住む高齢者の皆さんが集いました。この日の植物はトクサ、トキワシノブ、ミスキャンタス、テイカカズラなどを使って、爽やかな秋風に草花が揺れているような趣のある寄せ植えができあがりしました。「寄せ植えは初めての方ばかりと聞いていましたので、二時間を予定していたのですが、一時間ほどで完成しました。皆さんのみ込みが早いのでビックリしました」と講師の黒瀬恵子さん。「いいのができましたね」と黒瀬さんの褒める言葉に、他の方の出来あがりが見えるようにお互いの作品を見て回ったりしていました。

公民館の館長さんからは「今日はこんな素敵な寄せ植えが出来上がりました。これからもいろんな植物を使って、自分で寄せ植えを作って楽しみましょう!」とアドバイス。指導をしてくださった黒瀬恵子さんに皆さんからお礼の意味を込めた、大きな拍手がわきあがっていました。

取材：緑のコーディネーター 米倉治美さん



## 9月号「ハーブで楽しく！ハーブせっけん作り」一部訂正

「こどもっとだいがく」でハーブのせっけん作りの記事を掲載しましたが、作り方に一部訂正がありました。袋に入った粉状のせっけんに、~~お湯で薄めた~~ラベンダーの注水液を混ぜたら、耳たぶぐらいの硬さによくこねて、自分の好きな形に整えてください。

正しくは、袋に入ったせっけんの素地にラベンダーの抽出液を混ぜたら、耳たぶぐらいの硬さによくこねて、自分の好きな形に整えてください。でした。おわびして訂正します。



# 飯盛山薬草観察ハイキングに参加して、「わたしの木」を振り返る

《「わたしの木」事務局：緑のコーディネーター 桃井 誠さん》

9月26日（日）、市民緑化グループ「わたしの木」が初めてボランティア活動を行った飯盛山で、福岡市の健康づくり推進協議会、薬剤師会等の主催で薬草ハイキングが開催されました。

生憎メンバーの出席は少ないのですが、西区、早良区、城南区、南区の多く市民の方々と参加しました。

薬草ハイキングは、25回目だそうです。年1、2回の開催ですから、長年継続されていることとなります。改めて緑のコーディネーター講座で学んだ、『継続した活動にしていく為に、必要なこととは？』『テーマのポイントと具体的な表現手法』、『プログラムの運営と安全管理』等などが学習できました。下見会を行い、薬草の立札を作成し、参加者に分かりやすい冊子を創り、当日の天気への対応を決め適所の役割分担、安全管理、モチベーションを維持するクイズと賞品などなど。

「わたしの木」が取り組んでいる＜飯盛山の森を育てる活動支援＞、＜生の松原の再生活動応援＞、＜曲淵の水源地森づくり竹除伐活動＞、＜地域の緑と花づくり活動＞を通して、まだまだ未熟と痛感しました。

有吉会長が、「わたしの木」では“みんなの笑顔が見える、見たい”とよく言われます。そんな期待に、ますますスキルアップに励んで行こうと思いました。



薬草ハイキング・オリエンテーションを受ける多くの参加の方々



説明立て札



ナンバンギセルも薬草



「わたしの木」9月21日竹除伐作業オリエンテーション



開ける斜面・伐る人は廣瀬さんです

## 「わたしの木」の今後の日程

- 10月12日（火）曲淵試験地竹除伐作業
- 10月17日（日）生き松原松葉清掃作業  
10月度定例会
- 10月24日（日）曲淵試験地竹除伐作業

## 飯盛山にイチョウを植えよう!! 作業協力者を募集



《緑のコーディネーター 有吉祐子さん》

【主催】飯盛山を愛する会

【協力】わたしの木、生の松原 美の松露

「森林といえば緑の森が多いですが、イチョウを植えて黄色の景色の山づくりをしよう!」と、飯盛山を愛する会が作業協力者を募集しています。

期日は10月24日(日)、31日(日)、11月7日(日)、14日(日)の4日間。11月14日は作業終了後、市民ボランティアの方々と、大鍋をかこんで食事をする「ギンナン祭」を計画しています。

用具は「飯盛山を愛する会」が用意するので不要です。飲料水とお弁当を持参してください。参加者は10月22日までにハガキで福岡市森林組合宛てに、住所・生年月日・年齢を記入して申し込んでください。

〒819-0038 福岡市西区金武2120-1

現場まで車で行けますので参加者には地図を送ります。現場集合は9時半。車がない方は8時半に飯盛神社本殿前に集合後、現場近くまで送迎します。

<詳しい事は下記までお問い合わせください>

飯盛山を愛する会 井上会長 090-4582-7357 092-811-0002

わたしの木 有吉祐子 090-7392-5159

## 「秋の感謝祭 2010～みどりでつながる in 二丈キャンパス」

～西日本短期大学～

【日時】10月31日(日) 10:30～15:00

【会場】西日本短期大学 二丈キャンパス

【催し物】花苗・苗木の販売、模擬店(焼きそば・ちゃんぽんなど) 二丈で育った新鮮食材の販売、ステージ、学生による庭づくりデモンストレーション、緑地環境学科作品展、丸太切り大会、みどりの相談、樹木スタンプラリーなど(予定)

<問い合わせ>

西日本短期大学 二丈キャンパス

〒819-1601 糸島市二丈深江2324-2

TEL: 092-325-3060

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

## 福岡市植物園からのお知らせ

こんにちは福岡市植物園です。

開園30周年の記念式典を10月1日に開催し、温室も全室リニューアルオープンしました。また、水生・水辺植物室には5種類の亜熱帯の蝶を放ち、子どもから大人まで楽しむことができます。

10月22日から31日に『秋のバラまつり』を開催します。期間中は、フラワーコンサートやバラガイド、ローズラリーといったイベントが盛りだくさんです。福岡ばら会による秋のバラ展やバラづくり相談も開催します。是非植物園へお越しください。

○園芸講座 詳しくはホームページ又は市政だよりをご覧ください

・バラの手入れと管理 11/11 開催(※切10/28)

・秋の庭木の管理 11/12 開催(※切10/29)

☆植物園ホームページ <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>

